

中間検査の手続きについて

1. 検査希望日が決まりましたら、遅くともその2週間前までに電話等でお打ち合わせ願います。
2. お打ち合わせ後、 の「中間検査申請書」等の書類を検査日の1週間前までに提出してください。
3. 引受後に請求書を送付いたしますので、検査日の前日までに手数料を納付してください。
4. 検査日までに下記の「中間検査日当日」に記した必要書類を整えてください。
5. 計画変更がある場合は、変更部分に係る工事に着手する前に計画変更の確認済証を受けてください。
6. 特定行政庁の指定の特定工程の確認をしてください。

中間検査申請時に提出していただく書類

1. 連絡表
2. 確認検査業務等に係る請求書の送付先について
3. 中間検査申請書（第1面～第4面）(1部) 注1)
4. 軽微な変更説明書（直前の確認済証の交付後に軽微な変更があった場合は提出してください。）
 - ・敷地面積、建築面積、延べ面積、高さに変更があった場合は、変更後の数値も記載してください。また、中間検査申請書の第三面11欄も同様に、変更後の数値も記載してください。
5. 委任状（代理者が申請する場合）(1部)
（建築確認と一括委任されている場合はその写しで構いません。）
6. 建築士免許証（写）（直前の確認又は検査の後に追加された設計者及び工事監理者のみ）
7. 確認に要した図書（直前の確認をBCJに申請した場合は不要です。）
8. 施工結果報告書（必要事項を記載し、検査日当日にご提出ください。）
 - ・特定行政庁が規則で定める様式がある場合は、その様式で提出してください。
 - ・規則に定めがない場合は、当財団の様式で提出してください。
9. その他特定行政庁が工事監理の状況を把握するために特に必要があると認めて規則で定める書類
10. 現場案内図（最寄駅及び現場事務所の位置を明記してください。）(1部)
11. 検査対象床面積の算定根拠（略梁伏図・略軸組図等により、検査対象の部位、面積がわかる書類）

注1) 中間検査申請書は、建築基準法施行規則第26号様式のもので、(当財団ホームページにおいて書式ファイルをダウンロードできます。)

特定行政庁が規則で定める書類	
(例)【東京都内で建築する場合】(3階以上かつ延べ面積が500㎡超の場合)	
1) 鉄筋コンクリート工事関係(各1部) 建築工事施工計画報告書(写し) 上記添付図書(写し) 建築工事施工結果報告書(中間)(別記第22号の4) 鉄筋継手の試験結果(検査ロットごと)報告(様式3*) コンクリート圧縮強度試験検査結果(様式4*) 鉄筋及びコンクリート工事における施工管理状況報告(様式5*) 基礎配筋等の確認項目報告(様式6*) 鉄筋コンクリート造確認項目報告(様式6の2*)	2) 鉄骨工事関係(左記に追加)(各1部) 鉄骨工事施工結果報告書(様式7*) 鉄骨造確認項目報告(様式8*)
(当財団は旧書式のみで運用してください。)	

* 様式は、「東京都建築基準法施行細則による建築工事施工計画等に添付する書類の様式」(平成14.4.1 東京都告示四四四)による。

中間検査日当日に準備していただく書類

1. 施工結果報告書 規則で定める書類がない場合は当財団の指定様式に必要な事項を記載し、検査日当日にご提出ください。

特定行政庁が規則で定める様式がある場合	規則に定めがない場合(当財団の様式)
(例)【東京都内で建築する場合】 [法第12条第5項に基づく]建築工事施工計画等の報告と建築材料試験 建築工事施工計画報告書(写し) (1部) 建築工事施工結果報告書(中間) (2部) 注2) 鉄骨工事施工結果報告書(中間) (2部) 注2) 施工状況報告資料 (1部) (ミルシート、材料試験結果等の書類、工事写真等(B方式は一部省略して下さい。))	1) 鉄筋コンクリート工事関係 コンクリート工事施工結果報告書(2部) 注2) 施工状況報告資料 (1部) (代表的な部分のミルシート、材料試験結果等の書類、工事写真等の写し提出) 2) 鉄骨工事関係 鉄骨工事施工状況報告書(2部) 注2)

注2) 特定工程ごとに施工結果報告書の建築主の押印(朱肉)が必要となります。ただし、複数工区に分割する場合、第2工区からは建築主等の押印のあるものの写し(コピー)を使用することも可能です。なお、建築主等に変更があれば、新たに建築主等の押印されたものの提出が必要です。

注意事項：十分余裕を持って中間検査の日時を定めてください。